

「きみたちの魔法 ー化学『新』発見ー」展、神戸市青少年科学館で展示開催

昨年11月に東京都お台場の日本科学未来館で、夢・化学—21の「子ども化学実験ショー～世界化学年スペシャル」と並行して行われた「きみたちの魔法 ー化学『新』発見ー」展が、現在全国の地方の科学館で順次行われています。この巡回展示では、日化協が昨年12月にエコプロダクツ展で展示した、「化学産業は地球温暖化防止に貢献する産業である」ことを伝えるパネルが合わせて展示されています。

5月26日（土）から6月10日（日）まで、「きみたちの魔法 ー化学『新』発見ー」展が神戸市青少年科学館で展示されています。神戸市青少年科学館は神戸市三宮駅からポートライナーで約15分、ポートアイランド内の南公園駅近くにあり、昭和59年開館で全国の科学館の先駆的な存在で



す。“人間をとおして理解する科学技術”が館内展示の特徴で、歌ったり、顔写真から似顔絵を描く「ロボット神ちゃん」やハングライダーの体験展示、プラネタリウムによる星空紹介などが人気を集めています。また、土曜日や休日を中心に親子サイエンスツアーや科学工作教室などの楽しい教室も開かれています。

「きみたちの魔法 ー化学『新』発見ー」展は新館の4階の特別展示室で行われています。展示室は比較的広い部屋のため、ご来場の皆様もゆったりと展示をご堪能いただけます。神戸市青少年科学館スタッフの方々も、子ども



たちにより楽しんでもらおうと、6つの化学実験の体験に関連する択一クイズ形式のワークシートを制作して、ご来場の皆様をお迎えしています。初日の5月26日にはサンテレビやNHK神戸放送局による「きみたちの魔法展」の取材が行われ、夕方のニュースで放送されたこともあり、来場者数も26日の約100名から、27日

は倍近い180名に増加しました。ご家族連れのほか、小・中学校等の団体の来場者などが化学実験の体験に驚きと感動を覚えていました。特に、偏光フィルムを用いた「あるのにみえない!」、感熱色素を用いた「ひやすとみえる!」の実験が好評のようです。



また、会場の入口を入って左側に、日本人のノーベル化学賞受賞者のパネルに並べて、日化協のパネルも展示されています。子供たちが実験展示を楽しむかたわらで、化学産業がCO₂の排出削減に貢献していることの紹介パネルに目を向ける大人の方々も少なくないようです。

巡回展示は、岩手県大槌町(3/18~20)、福島県郡山市(4/28~5/13)に続くものです。神戸市青少年科学館での展示は6月10日までですが、その後も次のとおり全国の科学館を巡回していく予定です。より多くの方々に化学の面白さ、不思議さを体験していただければ幸いです。

- 6/23~7/16 新潟県立自然科学館(新潟市)
- 7/21~9/9 道の駅富士川楽座(静岡県富士市)
- 9/10~9/24 上田創造館(長野県上田市)
- 9/28~11/4 佐久市子ども未来館(長野県佐久市)

(日化協広報部)